

令和3年度

ちよだ生物多様性 活動事例集

— 受賞者の活動 —



皇居から広がる
生きもの
ネットワーク

自然と共生した
都心のまちを
めざして

生物多様性 とは？

地球上に存在するあらゆる生きものは、互いに生存を助け合いながら複雑に関わり合い、自然の中でそれぞれの役割を持って、一定のバランスで持続する生態系を創りあげています。このようなさまざまな生きものの豊かな個性とつながりを「生物多様性」といいます。

● 生物多様性 3つのレベル



1 生態系の多様性
それぞれの地域では、森や草地、池などの多様なタイプの生態系が存在します。

2 種の多様性
一つ一つの生態系には、さまざまな個性を持った多くの種が存在します。

3 遺伝子の多様性
同じ種でも色・形や性質などに違いがあり、多様なタイプの遺伝子が存在します。

いま、生物多様性が 危ない！！

現在、地球上では野生生物の乱獲や生息地の破壊、地球温暖化、人が持ち込んだ外来生物などの影響によって、生きものの減少や絶滅がこれまでになく急速に進んでいます。

このように生物多様性が失われ続けると、生態系のバランスが大きく崩れ、暮らしを支える自然の恵みを持続的に得ることができない仕組みが壊れてしまいます。

危機

1 野生生物の乱獲や 生息地の破壊

開発行為による生きものの生息・生育環境の悪化や、鑑賞、商業利用を目的とした乱獲によって、生きものの数が減少しています。

危機

2 生態系の質の低下

人の手によってバランスが保たれていた里山の森林や農地が、生活様式の変化によって管理されず荒廃し、生きものの生息・生育環境が悪化しています。

危機

3 地球環境の 変化による影響

地球温暖化などの影響による気象の変化で、環境が変化し、生きものの減少や絶滅が急速に進み、生態系が単純になっています。

危機

4 外来種による 生態系のかく乱

自然状態では生息・生育していなかった地域に、人間のさまざまな活動で持ち込まれ、定着した外来生物によって、地域固有の生態系のバランスが崩れてきています。

ちよだ 生物多様性大賞 って何だろう？

「ちよだ生物多様性大賞」は、生きものに優しい活動を表彰することで、生物多様性の保全活動をする意欲を高め、積極的に取り組んでいただくことを目的とした制度です。

ちよだの生きものたちの魅力を改めて感じる事が出来るこの制度は、平成28年度に都内で初めて創設されたユニークな制度です！

令和3年度 生物多様性大賞の様子



なぜ千代田区で？ ～取り組む意義～

千代田区は、官公庁や大企業が集中する一方で、皇居や日比谷公園等の豊かな自然に恵まれていることが、他にない大きな特徴です。だからこそ、生物多様性を含めた環境との共生が必要です。



現状 官公庁、大企業などが集中し、国内外の環境に大きな影響を与えています。

生物多様性を含めた環境と共生できる経済社会にする必要があります！



現状 皇居には、豊かな自然と生態系が存在します。その他の区内のエリアと生きものの生息環境のネットワークが形成されています。

皇居の豊かな自然環境を周囲へ広げる取組みは、千代田区だからできることです！



次のページからは、受賞者の活動を紹介します。
身近な生きものを楽しく観察しながら活動しています。
皆さんもふるって生物多様性大賞にご応募ください！



千代田区の生き物ちょうさ

たまい たかまさ
(玉井 貴将さん)



活動目的

千代田区の様々な場所を探し、
どんな生き物がいるかを調査する。



活動場所 千代田区内の公園や緑地



規 模 個人での活動



活動時期 2021年5月～8月



活動内容

- 千代田区内で生き物を探す。
- 捕まえた物や、写真のとれた物だけを記録。
- 見つけた場所の地図にシールを貼る。
- レア度ごとに分類する。
- 写真に説明を付け、図録(カード形式)を制作する。

評価の ポイント



小学2年生による身近な生きものの
観察記録として高く評価できます。
カードをすることによって、多くの人
と共有することができるので、とても
良い試みです。さらに続けることで自
然の変化を知ることができます。

受賞者の ひと言

今回ちょうさをしてみて、千代田くに
たくさんの生き物がいることがわか
りました。ぼくは生き物とふれあうの
が大すきです。みなさんもたくさんの
千代田くの生き物を、この大自ぜんの
中で見つけてみてください。

～具体的な活動内容～

千代田区内の公園(主に清水谷公園、北の丸公園、外濠公園)や緑地を探索し、昆虫や爬虫類などの小動物を捕まえたり観察したりしながら、生物の多様性を調査しました。

ほぼ毎日(朝または夕方、時に夜に)公園を歩いて調査しました。写真撮影とプリントアウトは父親が行いましたが、ポスター作り、図録の制作など全て本人が行いました。

生き物探し・写真撮影

調査では
「シロマダラ」と
いう珍しいヘビを
発見するなど、
千代田区の
非常に豊かな
生物多様性を
再確認するこ
とができました。



シロマダラ (外濠公園)



タマムシ (北の丸公園)



カブトムシ (北の丸公園)



二ホントビナナフシ (北の丸公園)



アオカミキリ (清水谷公園)



ヒバカリ (清水谷公園)

ポスターの制作

千代田区の生き物ちょうさ

五井新築

ちょうさしまろまろ
●千代田区内で
生き物をさがす。
●つかまえた動物が
しゃんをよれ大虫の
なげをきく。
●見つけたばいしょのちい
いツールをしる。
●レア度ごしにぶんり
いしる。

超ゲキレア	ゲキレア	レア	ノーマル
シロマダラ ニホントビナナフシ	アオカミキリ アオカミキリ	アオカミキリ アオカミキリ	アオカミキリ アオカミキリ
ミヤマクワガタ タマムシ	アオカミキリ アオカミキリ	アオカミキリ アオカミキリ	アオカミキリ アオカミキリ
カブトムシ アズマヒキガエル	アオカミキリ アオカミキリ	アオカミキリ アオカミキリ	アオカミキリ アオカミキリ
アオカミキリ アオカミキリ	アオカミキリ アオカミキリ	アオカミキリ アオカミキリ	アオカミキリ アオカミキリ
アオカミキリ アオカミキリ	アオカミキリ アオカミキリ	アオカミキリ アオカミキリ	アオカミキリ アオカミキリ
アオカミキリ アオカミキリ	アオカミキリ アオカミキリ	アオカミキリ アオカミキリ	アオカミキリ アオカミキリ

そのほかにもたくさんの生き物を図入りにしてあります

地図への記録

見つけた生きものに番号を付け、見つけた場所に番号付きのシールを貼りました。

調査場所

四ツ谷公園、清水谷公園、北の丸公園、
ガーデンテラス紀尾井町、平河町、麴町小学校
紀尾井町、四ツ谷駅、弁慶橋、外濠公園
麴町大通り、靖国神社、代官町の土手

レア度の分類

見つけた生きものをレア度ごと4種類に分類しました。
色で見分けられるようシールの色を分けました。

●超ゲキレア

シロマダラ、ニホントビナナフシ
ミヤマクワガタ、タマムシ 等

○ゲキレア

カブトムシ、アズマヒキガエル
アオダイショウ、アオカミキリ

●レア

ニイニゼミ、アカボシゴマダラ
シロテンハナムグリ、カナヘビ 等

●ノーマル

ミシシippアカミミガメ
ヤモリ、カタツムリ、ミンミンゼミ

カード記入例

種名：アオカミキリ

- 1、見つけた場所
清水谷公園
- 2、見つけた日
5月30日
- 3、特徴
イロハモミジ等
の木を食べる

カードの表は生き物の写真、
裏には情報を書きました。



表
アオカミキリ (C)
裏
1、はだにマラシム
2、5月30日
3、イロハモミジ
などの木を食べる

図録の制作

つぎ
1、見つけた場所
2、見つけた日
3、とくちょう

図録（広げたところ）

これからも、たくさんの
生き物を発見して、千代田区
の豊かな大自然を多くの
人に伝えたいです。

法政大学で最愛の庭園を目指します

(法政大学屋上緑化維持管理プロジェクト)



活動目的

気候変動の緩和・適応策、ヒートアイランド対策、ビオトープネットワークを意識した生物多様性の保全、「自然観察」による生物多様性に関する知識の習得、学生・教職員や「地域」の憩いの場の創出を目指します。



活動場所

法政大学市ヶ谷キャンパス・
ポアソナードタワー4階
「グリーン・テラス」



規模

団体での活動
登録者数20～25名



活動時期

通年(日常的な維持管理)
プロジェクト継続16年
※2020年:4回、2021年:5回



活動内容

地域のビオトープネットワークを意識し、「REAL GARDENER」の育成を視野に入れて、植物や庭園に遊びに来る鳥や蝶をはじめとする生物の生息・生育空間である「法政大学で最愛の庭園」を目指します。



事務局

法政大学環境センター
(E-mail: ickankyo@hosei.ac.jp)

評価のポイント



教職員と学生が知恵を出し合い、力を出し合った協働作業の成果として生まれた花壇は、これからのまちづくりのすばらしい見本になるでしょう。

今後も「愛校心」がもたらす小さな「出会い」と「行動変容」を積み重ねて、庭園に遊びにくる鳥や蝶を始めとする生物の生息・生育空間である「法政大学で最愛の庭園」を目指します。本学で取り組んでいる、地域の生物多様性の保全における今後の可能性に期待して下さい。

受賞者のひと言

～具体的な活動内容～

2005年に法政大学市ヶ谷キャンパスに誕生した屋上庭園では、学生たちが参画して、庭園づくりを進めてきました。現在では、樹木や草花が育ち、庭園内のひょうたん池にメダカが泳ぎ、鳥や蝶が生息する場へと成長しています。

また、自然観察や地域の自然の紹介、鳥や蝶が好む植物の選定なども行うほか、生物多様性をテーマとしたエコツアーも開催するなど、活動も広がりを見せています。

「生物多様性」「気候変動」等の問題を学び、実践する場として学生たちを育てる場となっているとともに、緑の少ない都市部における貴重な緑の空間となっています。



「GARDENING」の後は一息ついて「UO-IMZU」



菜園コーナーのイチゴ



法政大学で最愛の庭園 (2021/4)

蝶が好む色と香りが特徴的なチューリップ



プロジェクト第三弾(2020/12/2)
NEW SPRING 対
こだわりの詰まった法政大学で最愛の庭園



プロジェクト第四弾(2021/3/23)
一期一会 対
こだわりの詰まった法政大学で最愛の庭園



冬越ししたハイビスカス

千代田区におけるその他の取組み紹介

千代田区生きものさがし

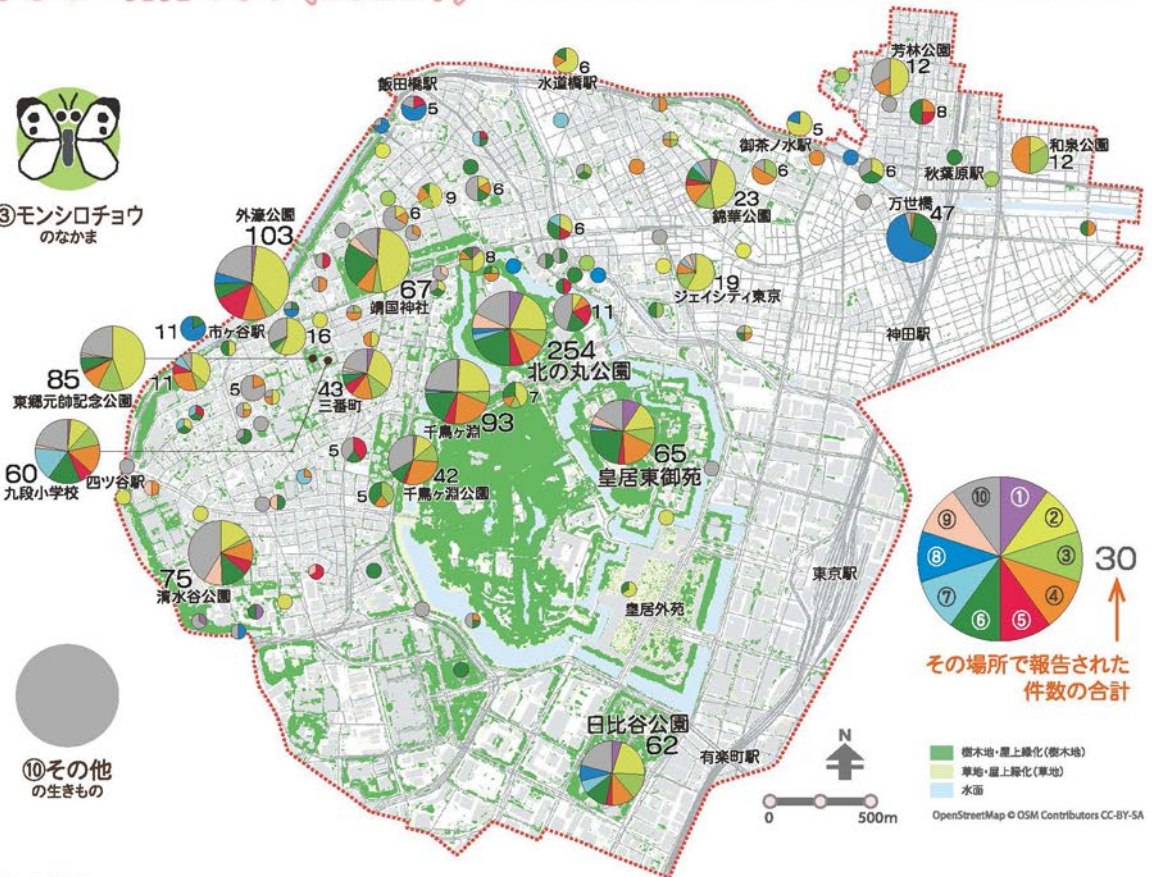
「千代田区生きものさがし」は、区内の身近な自然にふれ、さまざまな生きものを知ること、自然や生きものへの関心を高めることを目的として、毎年6月～10月におこなっています。

また、毎年実施することで、区内に生息する生きものの現状や変化を確認していきます。



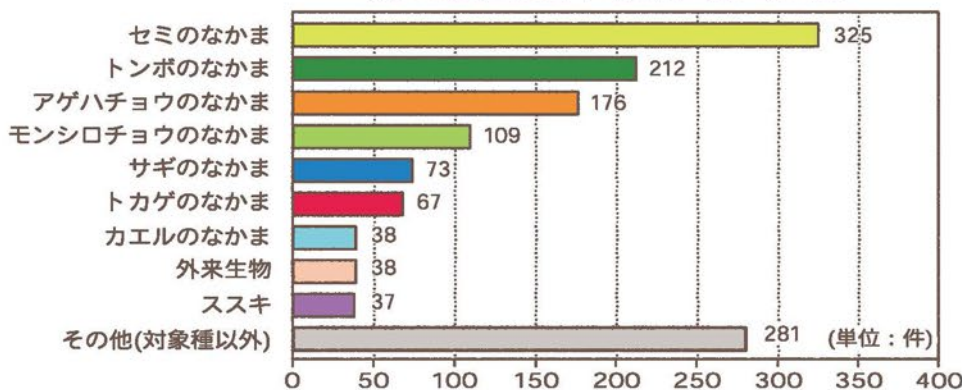
調査対象の生きもの・発見マップ(2021年)

- ①ススキ
- ②セミのなかま
- ③モンシロチョウのなかま
- ④アゲハチョウのなかま
- ⑤トカゲのなかま
- ⑥トンボのなかま
- ⑦カエルのなかま
- ⑧サギのなかま
- ⑨外来生物
- ⑩その他の生きもの



調査結果(2021年)

【見つけた生きもの(種群)ランキング】



生きものさがし2021では、合計1356件の情報が寄せられました。そのうち確認数が一番多かった生きもの(種群)はセミのなかまでした。次いでトンボのなかま、アゲハチョウのなかまが多く確認されました。



ちよだ生物多様性大賞

令和4年度 募集案内

募集期間

令和4年 6月1日(水) ~ 9月30日(金)

対象

区内で生物多様性の保全等に関する活動をしている個人、団体、事業者等
※自薦、他薦を問いません。

家庭での身近な取り組みでも、お気軽にご応募下さい！

応募

以下の方法で応募できます。
区ホームページから応募用紙をダウンロードしてください。



【応募方法】 ①メール ②郵送 ③持参(環境政策課)

選考ポイント

実効性や発展性・波及性等の視点から、個人、団体等の特性に合わせて評価します。

表彰者発表 令和4年11月(予定)

表彰式 令和5年2月(予定)

※応募書類と写真は原則として返却いたしません。
※受賞者の活動はホームページ等で公表します。



表彰の対象となる活動例

1 生物多様性の保全に関する活動

- ▶ アダプトシステムへの参加
- ▶ 緑地づくり
- ▶ ツバメの巣の見守り など



2 生きもののネットワークづくりに関する活動

- ▶ 鳥が休める場所づくり
- ▶ 生きものが住みやすい場所づくり
- ▶ 小さな空地も活かした都心の緑化 など



3 普及・啓発に関する活動

- ▶ 生きものさがし観察会への参加
- ▶ 生物多様性の普及グッズの制作 など



4 その他、特徴ある活動

- ▶ 生きもの情報の蓄積や発信
- ▶ 生きもの調査による発見 など



応募／問い合わせ先：千代田区環境まちづくり部 環境政策課

電話:03-5211-4255 FAX:03-3264-8956
Eメール:kankyouseisaku@city.chiyoda.lg.jp

住所:〒102-8688 千代田区九段南1-2-1

※環境に配慮した紙を使用しています。

